

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年6月21日

2005年6月19日現在の概況：

6月19日に終わる週に、Willamette 盆地での最高気温は81～83度に上昇した。小麦主産地のNC地区の最高気温は76～86度Fであった。Willamette地区の平均気温は平年2～4度F下回り、NC地区の平均気温は平年を6～7度F下回った。降雨は各地で有り、1週間の降水量は0.3～0.7インチ、NC地区ではMoro観測所(0.00インチ)を除き0.31～0.45インチを記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は5.5日(前週：6.0日)であった。土壌水分は良好な状態を保った。冬小麦は登熟期に入った。全体に気温が低く、驟雨があり小麦の澱粉蓄積には良い条件であった。Sherman郡の北部斜面の冬小麦は急激に登熟した。収穫は7月4日頃からと予想された。春小麦は各地で水分不足のストレスが出だした。冬小麦の作柄は前週より落ちた。春小麦の作柄評価は、“Very Poor”及び“Poor”が急増した。各地で更に水分を必用としている。

6月10日USDA発表の6月1日付け冬小麦の生産予想では、単位収量は58.0 bushels/acreと5月1日の予想より3.0 bu/acr増加した。5月の降雨と急激な温度上昇が無かったことがプラス要因となった。詳細は別表の通り。

9日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	7	7	76	10
Subsoil (%)	8	18	67	7

小麦生育状況：6月19日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Headed (%)	60	19	79	NA
Harvested (%)	0	0	0	NA
Winter wheat Harvested (%)	0	0	0	0

小麦の作柄状況：6月19日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat This week (%)	0	14	24	51	11
Last week (%)	1	7	27	57	8
Spring Wheat This Week (%)	12	24	29	28	7
Last Week (%)	8	14	47	28	3

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

6月1日付けUSDA発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 Bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
May 1				June 1			
OR	780	840	61.0	55.0	58.0	47,580	48,720
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>